

## 2026年シーズン 九州アジアリーグ 公式戦ルール

### 【延長戦】

(1) 試合は、前期リーグ戦は9回までとし、前期トーナメント、後期リーグ戦、後期トーナメント、ファイナルラウンドは7回制とする。

(2) 前期リーグ戦において9回終了後に同点の場合は、10回のみタイブレークを行う。

タイブレークは無死 1.2 塁の状態で行い、攻撃する打順を選択できることとし、両チームの監督は10回表が始まる前に選択する打順を球審に申告しなければならない。走者は打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者となり、この場合の代打・代走は認められる。

(3) 後期リーグ戦、ファイナルラウンドにおいて7回終了後に同点の場合は、8回のみタイブレークを行う。

タイブレークは無死 1.2 塁の状態で行い、攻撃する打順を選択できることとし、両チームの監督は8回表が始まる前に選択する打順を球審に申告しなければならない。走者は打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者となり、この場合の代打・代走は認められる。

(4) トーナメントにおいて7回終了後に同点の場合は、決着がつくまでタイブレークを行う。

8回は無死 1.2 塁の状態で行い、攻撃する打順を選択できることとし、両チームの監督は8回表が始まる前に選択する打順を球審に申告しなければならない。走者は打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者となり、この場合の代打・代走は認められる。

9回以降は無死 1.2 塁、継続打順で行い、走者は打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者となり、この場合の代打・代走は認められる。

(5) 球場規定により延長戦を開催できない場合、前期リーグ戦は9回裏終了時点で同点の場合、後期リーグ戦・ファイナルラウンドは7回裏終了時点で同点の場合は引き分けとする。

(6) 福岡ソフトバンクホークスとの試合においては、9回制で行い、9回打ち切りとする。

### 【コールドゲーム】

(1) 前期リーグ戦において7回10点差以上、前期トーナメント・後期トーナメントにおいて5回10点差以上の点差が開き、かつ当該イニングの表裏が成立した場合、その時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。

(2) 前期リーグ戦において7回10点差以上、前期トーナメント・後期トーナメントにおいて5回10点差以上の点差が開き、かつ後攻のチームがリードしている場合、裏の攻撃は行わずその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。

(3) 前期リーグ戦においては7回で、前期トーナメントおよび後期トーナメントにおいては5回で後攻のチームが攻撃中に10点差以上の点差をつけた場合は、第3アウトが成立していなくてもその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。

(4) 後期リーグ戦およびファイナルラウンドでは振替試合によるダブルヘッダーの場合のみ上記ルールに準じてコールドゲームを適用し、シングルゲームの場合は適用しない。

(5) 本ルールは、九州アジアリーグ加盟球団同士の試合にのみ適用し、NPB 球団との公式戦においては適用しない。

### 【トーナメントにおける時間制限】

トーナメントにおいては7イニング内であっても、2時間を経過した時点の次のイニングを以って最終イニングとする。

なお、1回表先頭打者の打撃終了後に試合開始時刻を、2時間を経過した時点(打撃中は当該打者の打撃終了後)で最終回を、それぞれ場内アナウンスにて周知をする。

### 【ダブルヘッダー】

(1)ダブルヘッダーでの試合開催は振替試合のみ可とする。

(2)ダブルヘッダーの試合においては前期リーグ戦、後期リーグ戦、ファイナルラウンドともに7回までとする。また、5回終了をもって試合成立とする。

(3)7回終了時に同点の場合はダブルヘッダーにおいてもタイブレークを行う。ただし7回終了時点で2時間30分を超えていたら行わず引き分けとする。

(4)2試合目の開始時間は第1試合終了45分後目安にする。

(5)コールドゲームについては以下のように定める。

①5回10点差以上の点差が開き、かつ当該イニングの表裏が成立した場合、その時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。

②5回表終了時点で10点差以上の点差が開き、かつ後攻のチームがリードしている場合、裏の攻撃は行わずその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。

③5回で後攻のチームが攻撃中に10点差以上の点差をつけた場合は、第3アウトが成立していなくてもその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。

④5回を終了して試合が成立した後、日没によりゲームの続行が困難と判断される場合は、当該イニングの表裏の終了をもって日没コールドとする。

(6)予告先発投手は試合前日に2試合分発表する。

(7)勝利投手の権利等の記録のルールは通常と同様とする。

### 【ノーゲーム】

(1)試合は5回終了をもって成立する。5回表終了時点でホーム球団がリードしている場合は、試合が成立したものとみなす。

(2)試合成立前に雨天等によって試合が中断された場合、ゲーム続行の可否は責任審判員が判断する。

(3)そのままゲーム続行が困難となった場合は、ノーゲームとして改めて再試合を行う。

### 【指名打者】

指名打者制(DH制)を採用する。

### 【予告先発】

(1) 予告先発は九州アジアリーグ加盟球団同士および準加盟球団との試合のみ採用する。発表は試合前日の午後3時とする。

(2) 発表後は原則として変更できない。ただし、発表日の試合が雨天中止またはノーゲームとなった場合はこの限りではない。

(3) 止むを得ない理由で発表後に変更された投手は、その日を含む3試合に出場することはできない。

### 【ピッチクロックルール】

(1) 投手は走者なしの場合は 12 秒、走者ありの場合は 20 秒以内に投球動作を起こさなければならない。違反した場合は走者の有無に関わらず 1 回目からボールを宣告する。走者ありの際に牽制球、投手板から軸足だけを外す行為、偽投などの行為は 1 打者につき 2 回まで計測はリセットされるが、3 回目以降は走者をアウトにするか、挟殺プレーにしない限り投手にボークを科す。

### 【バッタースボックスルール】

(1) 打者は投球を見逃したボールに対して両足をボックスから外すことは認めない、必ずどちらかの足をボックスに入れておかなければならない。

上記の行為に違反した場合は、1 回目は警告、2 回目以降はストライクを宣告する。

### 【選手契約・出場選手】

(1) 各球団が契約できる選手は上限を定めない、球団の裁量とする。

(2) 公式戦の出場選手登録ができる選手は 30 名を上限とする。

(3) 公式戦において同時に出場できる元プロ野球選手と外国籍選手数の定めはないものとする。

### 【優勝決定方法】

2026 年シーズンは、以下のルールに準じてポイントの合計で順位を決定する。

(1) 前期および後期リーグ戦は優勝 20 ポイント、2 位 15 ポイント、3 位 10 ポイント、4 位 5 ポイントを与える。

(2) 前期および後期トーナメントは優勝 5 ポイント、準優勝 3 ポイント、ベスト 4 に 1 ポイントを与える。

※トーナメントが雨天等により全ての日程を消化できなかった場合については別途発表する。

(3) ファイナルラウンドは勝利したチームに 2 ポイント、引き分けの場合は両チーム 1 ポイントとする。

(4) NPB 球団等その他チームとの試合においては勝利したチームに 2 ポイント、引き分けおよび未消化の場合は 1 ポイントを与える。

1 チームあたり公式戦 48 試合(ホーム 24 試合・ビジター 24 試合) + トーナメントを行う。

(佐賀アジアドリームズ、福岡ソフトバンクホークスのチーム成績は対象外とする。)

### 【規定打席・規定投球回】

(1) 規定打席は、所属球団の試合数 × 2.7 打席とする。

(2) 規定投球回は、所属球団の試合数 × 0.8 回とする。

※個人成績は前期リーグ戦、後期リーグ戦、ファイナルラウンド、福岡ソフトバンクホークス戦を通しての成績とする。(トーナメントの個人成績は対象外とする。)

(佐賀アジアドリームズ、福岡ソフトバンクホークスの個人成績は対象外とする。)

		ホーム					合計	
		火の国	大分	北九州下関	宮崎	佐賀		ホークス
ビジター	火の国		6	6	6	5	1	24
	大分	6		6	6	5	1	24
	北九州下関	6	6		6	5	1	24
	宮崎	6	6	6		5	1	24
	佐賀	4	4	4	4		—	16
	ホークス	2	2	2	2	—		8
合計		24	24	24	24	20	4	120

■前期・後期リーグ戦の勝率が同率の場合には、①当該カードの対戦成績 ②当期の得失点差 ③当期の総得点数の順に優位な球団を優勝とする。

■ポイントが並んだ場合は①当該カードの全リーグ戦の対戦成績 ②全リーグ戦での得失点差 ③全リーグ戦での総得点数の順に優位な球団を優勝とする。

#### 【開幕権】

①一昨年シーズンリーグ優勝球団 ②ほかの球団の中で通期の勝率が最も高いチーム の順で開幕権を与える。

但し、開幕権所持球団より開幕権の放棄(球場確保の都合上等)があった場合は変更もありうる。

勝率が同率の場合には、次の順に優位な球団とする。

①勝利数 ②当該対戦成績の勝利数 ③得失点差 ④総得点数

※新規加盟球団がある場合は都度協議する。

【表彰タイトル】

- ・最優秀選手賞
- ・最優秀審判員賞

～ベストナイン～

- ・先発投手
- ・リリーバー
- ・捕手
- ・一塁手
- ・二塁手
- ・三塁手
- ・遊撃手
- ・外野手(3名)
- ・指名打者
- ・ユーティリティ

～投手部門～

- ・最優秀防御率投手賞
- ・最多勝利投手賞
- ・最多三振奪取投手賞
- ・最優秀中継ぎ投手賞
- ・最多セーブ投手賞

～打者部門～

- ・首位打者賞
- ・最多安打者賞
- ・最多本塁打者賞
- ・最多打点者賞
- ・最多盗塁者賞